2004年1月17日

いくの喜楽苑関係者 [redacted]

取　材　許　可　願

本来ならば、直接お会いしてお話させていただくくのが妥当なところ、ＦＡＸによりお願いさせていただきますことをお詫び申し上げます。

番組名・番組内容

私が制作しようとしている番組の元は、[redacted]という番組です。この番組は[redacted]が学生からの番組企画を募集し、学生自身で取材交渉、肖像権のクリアまた撮影、編集を行い、最終的には局のプロの方と一緒に最後の仕上げを行うというプロセスを経て放映される番組です。そこに「ドイツの兵役制度」についての番組企画を立てて応募したところ採用されたという経緯です。

企画内容

ドイツの若者たちは18歳になると一定期間、自らの進路を一時中断し、国に従事しなければならない兵役制度というものがあります。つまりドイツ人として生まれた瞬間から、彼らの人生の中には“兵役”という2文字があり、それと切っても切り離せない関係になってしまいます。日本の18歳といえば大学生、もしくは社会人として、自らの意思にそってより広い環境へ出ていける年代です。そんな兵役制度の中で揺れるドイツの若者の“思い”というのはどういうものなのか。また、良心的兵役拒否者として、そして何よりも今を生きる一人の若者として存在する“若者の姿”を凝視したいと考えています、私たちの国が持たない制度や、究極の選択を迫られた若者の姿から、これからの日本の未来図が見えてくるのではないかという思いからこの番組を企画しました。

希望取材内容

上記のような番組のねらいが、視聴者の方により伝わりやすくするために、私が希望する撮影内容としまして、パウル君がボランティアをしている様子であるとか、パウル君の休日、また職員の方とパウル君の関わり等をお仕事のお邪魔にならないようにインタビュー等も含めながら取材させていただければ、と思っております。もちろんプライバシーのことが関係してくるのは、重々承知しております。

取材期間

「いくの喜楽苑」さんの方で2月1日以降で、可能な日にちをいくつかあげていただけるとありがたいです。

いかに自らの人生を生きるか。ドイツの若者を通じて、日本の若者へ何らかのメッセージ性を持たせることができればと、考えています。ご検討の程よろしくお願いいたします。

甲南大学

松本 章伸

連絡先：（自宅）[redacted]

（携帯）[redacted]